

●参考

平成20年6月27日午前、琉球王国・第一尚氏六代尚泰久王墓がある岩盤の一部が崩れているのが地域住民の通報により発見された。直ちに、南部国道事務所が管理している国道331号を全面通行規制(写真①)を実施するとともに、速やかに災害復旧工事に取り掛かり、同年12月23日には全面通行止めを一部解除、JA店舗へ通行を可能としました。(写真②)

写真①(岩崩時の規制状況)



崩落状況(伐採後)

写真②
(一部通行規制解除状況)



引き続き全面通行規制解除を目指しておりましたが、崩壊した岩を除去したところ、尚泰久王墓と並んで長男である加那巴志(金橋)の墓に影響がでていることが判明し、南城市文化財課による調査を受け、尚泰久王など、墓に配慮した対策工法としたことから、約7ヶ月工期を経て今回の工事完了となりました。

なお、今回の災害復旧工事については、「災害時における沖縄総合事務局開発建設部所管施設に係る応急対策等の災害対応の支援に関する協定」により、(社)沖縄建設業協会の会員(株)大寛組と随意契約を締結、現地調査、設計及び施工を進めて参りました。

●工事概要

工事名 : 平成20年度南城市富里地区災害対策復旧工事
施行業者 : 株式会社 大寛組

.....復旧工事のながれ.....



①被災後工事着手



②岩を抑える為の盛土(平成20年7月現在)

.....復旧工事のながれ.....



③岩除去時の状況(平成20年8月現在)



④法枠・ロックボルト完了(平成20年11月現在)

-----復旧工事のながれ-----



⑤法面緑化の状況(平成21年1月現在)



⑥復旧対策完了時(平成21年2月)